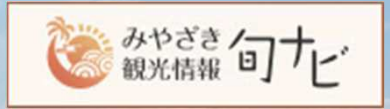




宮崎県観光協会



令和5年3月

(VOL.9)

発行
公益財団法人
宮崎県観光協会

ニュースレター

Miyazaki Prefecture Tourism Association News Letter

春分の候、皆様には当協会の事業・取組につきまして御理解・御協力をいただき感謝申し上げます。

最新のニュースレターをお届けします。御一読いただけましたら幸いです。



宮崎から世界の頂点へ 侍ジャパン宮崎キャンプ



侍ジャパンに優勝していただき、
宮崎キャンプで勝運UPをPR
し合宿誘致に繋げたいです！
スポーツランド推進部
主事 椎葉 夏希

また、球場の外に設置された「SAMURAI PARK (侍パーク)」のインフォメーションで会場の総合案内に当たったほか、「観光・物産PRブース」も設置し、県内外からの来場者に対し宮崎の魅力をPRしました。

なお、2月25日、26日の壮行試合は国公立大の入学試験と日程が重なり、交通渋滞や受験生の宿泊施設の確保等が懸念されましたが、県ホテル旅館生活衛生同業組合をはじめとする関係機関が一致団結した取組が功を奏し、大きなトラブルもなく、合宿を成功裡に終えることができました。

ワールド・ベースボール・クラシック (WBC) 日本代表「侍ジャパン」の事前合宿が2月17日から27日までの11日間、宮崎県総合運動公園「ひなたサンマリスタジアム宮崎」で行われ、県内外から約18万人の観客が訪れました。

期間中は宮崎市内の各所に歓迎の看板やのぼり旗を掲出し、当協会の他、宮崎空港ビルやJR九州、宮崎交通、県物産貿易振興センター、宮崎市観光案内所等の職員もレプリカユニホームを着用するなどして気運の醸成を図りました。(写真下左)



合宿初日には、宮崎牛(1頭分)、県産うなぎ(10kg分)、キャビア(500g)など、本県の特産品を贈呈しました。



スタジアム周辺、「SAMURAI PARK」は連日の人だかり。(上) その模様は連日、SNSでも発信しました。「SAMURAI PARK」に設けた「観光・物産PRブース」にも連日、多くの観光客が訪れました。(右)

インバウンド 本格的な再開に向けて



海外からの観光需要を再獲得し、かつ囲い込みつつ、観光消費の旺盛な高付加価値旅行者の誘客拡大を図ってまいります。

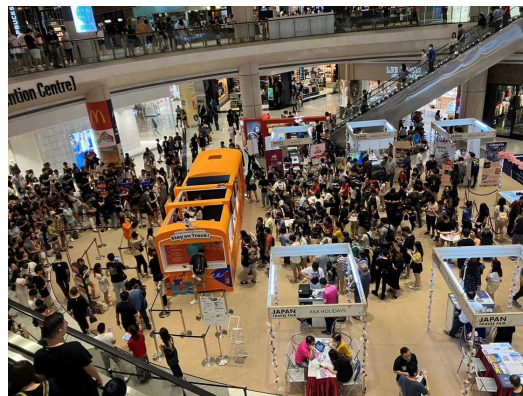
海外誘致部 部長 鷹取 善昭

インバウンドの本格的な再開に向けた動きが加速化しています。

ソウル-宮崎では、アジアナ航空が今年1月から2月にかけて、令和2年3月の運休以来初となるプログラムチャーターを運航。計13便で約2,300人が宮崎を訪れました。また、3月から4月にかけてはエアプサンが釜山-宮崎のプログラムチャーター5便を計画。韓国第二の都市・釜山から宮崎への初のチャーター便ということもあり、多くの来県が期待されます。



アジアナ航空チャーター便と宮崎空港ロビーでの歓迎の様子



「Japan Travel Fair」(シンガポール)。ブースでのPRの他、宮崎県観光セミナーも開催しました。



訪日リピート率が高いシンガポールでは、2月下旬に開催された「Japan Travel Fair」に宮崎県として初出展。来場者約45,000人に宮崎の魅力を紹介しました。

3月には香港で日本送客最大手の「EGLtours」の袁文英社長が来県。集まった県内外の観光関係者約110人を前に、今後の誘客のポイント等について講演を行ったほか、新たな旅行商品の開発のため、県内の観光地の調査も行いました。

また、3月下旬には油津港、細島港への海外クルーズ船の寄港も再開するなど、インバウンドを巡る動きは活発化しており、今後、更なる誘客に向けた取組を進めていきます。



袁社長による講演会



宮崎カーフェリー新船「ろっこう」を視察

フェリー新船を活用した 教育旅行招請事業



教育旅行の誘致に取り組んでいます。皆さんとともに本県ならではの教育旅行プログラムを発信していきたいと考えています。

教育旅行担当部長 戸高 直也

1月16日～18日に宮崎カーフェリー新船を活用した教育旅行関係事業者の招請ツアーを実施し、関西地区旅行会社の教育旅行担当者10人が新船「ろっこう」に搭乗して来県しました。



(左)九州電力職員による一ツ瀬ダムの説明(右)養鰻場(新富町)を視察



県内ではユニークな体験を提供する新富町こゆ財団の教育プログラムや一ツ瀬ダムの見学といった、今後ますます教育の場で求められる探求学習にふさわしい素材を中心に視察し、本県への修学旅行誘致促進を図りました。

今回のツアーは宮崎カーフェリーの新船就航を契機に、昨年6月に神戸市・大阪市で実施した教育旅行誘致推進セミナーに続く第2弾として行ったもので、合わせて延べ45人の関西地区教育旅行関係者へのPR活動となりました。



フェリーの中でのグループワークの様子

■お問い合わせ

公益財団法人宮崎県観光協会 総務企画部
宮崎市錦町1番10号
宮崎グリーンピア壱番館
(KITENビル) 3階



TEL: 0985-26-6100

FAX: 0985-26-6123

E-mail: info@kanko-miyazaki.jp